

平成 24 年度
「市民による市政評価」
結果報告書

平成 24 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

調査概要

1	調査概要	4
1.1	調査の目的	
1.2	調査の対象、手法、期間	
1.3	調査の内容	
1.4	実施結果（回収率）	

調査結果

2	調査結果	7
2.1	満足度および重要度の分析	
2.1.1	満足の度合い	
2.1.2	満足度における選択肢別の回答割合	
2.1.3	重要の度合い	10
2.1.4	重要度における選択肢別の回答割合	12
2.1.5	満足度および重要度の属性別比較	13
2.1.6	項目別要望度	16
2.1.7	散布図	18
2.1.8	満足度および重要度の総括	19
2.2	さらに推進すべき取り組み分析	20
2.2.1	健康福祉分野に関する設問について	
2.2.2	教育分野に関する設問について	23
2.2.3	産業分野に関する設問について	26
2.2.4	都市基盤分野に関する設問について	28
2.2.5	環境・安全分野に関する設問について	32
2.2.6	地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について	35
2.2.7	さらに推進すべき取り組みの総括	38
2.3	自由記述の類型化（抜粋）	40

1 調査概要

1.1 調査の目的

市の施策に対する市民の意見を調査・分析し、その結果を施策に反映させていくことで、効果的かつ効率的な市政運営に結び付けるとともに、調査報告を通じて多くの市民に市の施策を周知し、市政運営に対する理解と市民との協働のまちづくりに向けた意識醸成を図ることを目的とする。

1.2 調査の対象、手法、期間

(1) 対象

市内在住の18歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に抽出した市民1,000人に希望者5名（広報だいせん5月号にて募集）を加えた計1,005人

(2) 手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

(3) 期間

平成24年5月25日（金）～6月8日（金）

1.3 調査の内容

本調査では、大仙市総合計画に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、それぞれ「満足度」と「重要度」及び今後さらに推進すべき取り組みについて調査した。

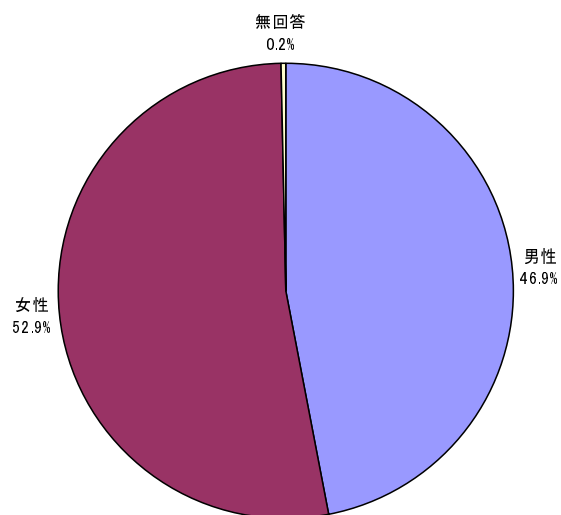
- ◆「満足度」 大仙市の現状にどのくらい満足しているか。
- ◆「重要度」 大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。

1.4 実施結果（回収率）

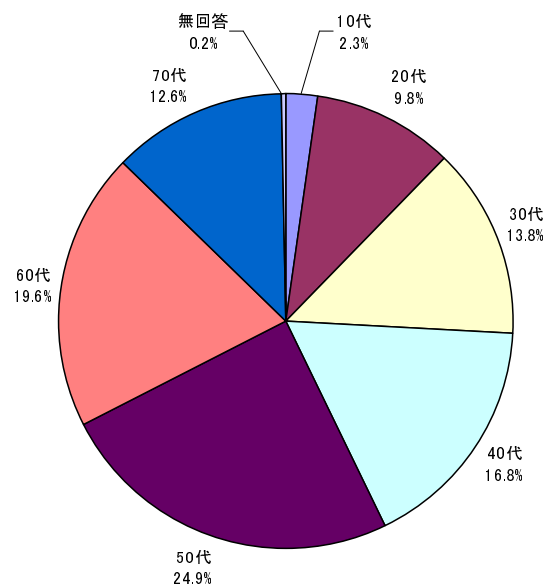
回収件数 … 429人

回収率 … 42.7%

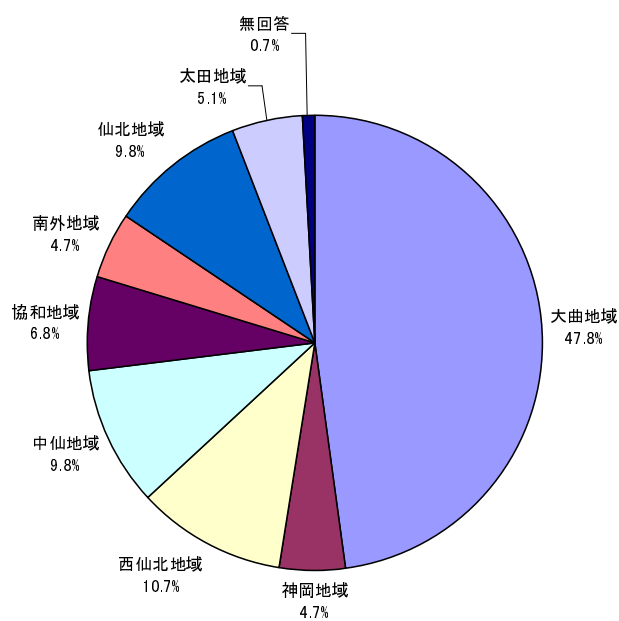
図表1 回答者の性別の内訳



図表2 回答者の年齢の内訳



図表3 回答者の居住地域の内訳



2 調査結果

2.1 満足度および重要度の分析

2.1.1 満足の度合い

満足度の高い項目は「自然保護」が 3.55（昨年度：3.45）、「学校教育」が 3.41（昨年度：3.46）、「保健・医療」が 3.34（昨年度：3.14）となっている。

一方、満足度の低い項目は「就業支援」が 2.40（昨年度：2.25）、「産業創出・支援」が 2.64（昨年度：2.63）、「観光振興」が 2.64（昨年度：2.67）となっている。

昨年度と比較すると、「学校教育」、「上・下水道」、「市街地形成」、「観光振興」の満足度がわずかに下降しているが、その他 20 項目は満足度が上昇している。中でも「保健・医療」、「就業支援」の上昇度合いが高くなっている。

図表4 満足度（点数順）

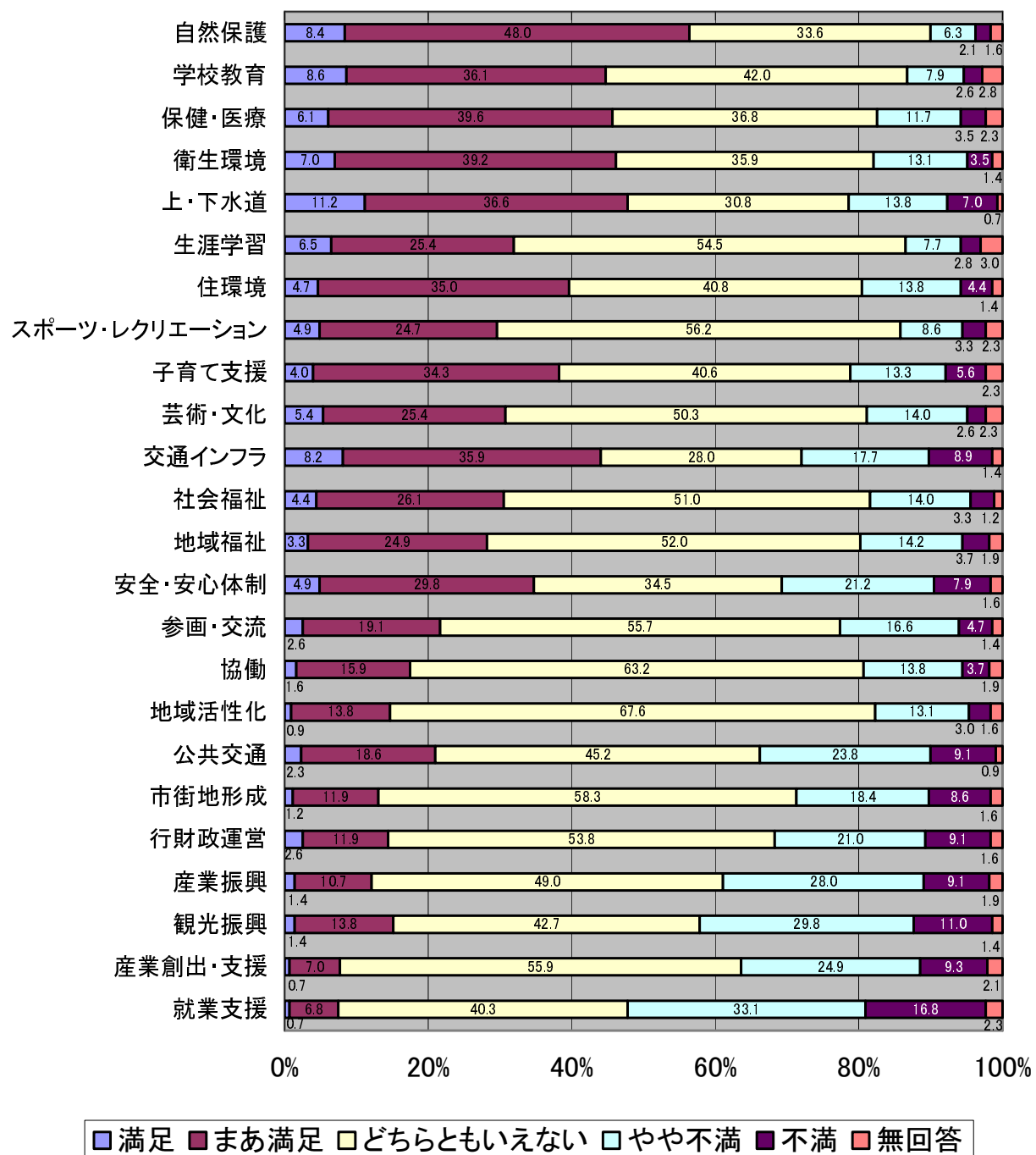
順位		項目	満足度 ※1			
H23	H24		H24	H23	増減 (H24-H23)	
1	1	(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	↗	3.55	3.45	0.10
2	2	(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	3.41	3.46	▲0.05
8	3	(保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↑	3.34	3.14	0.20
4	4	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	↗	3.34	3.28	0.06
3	5	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	3.31	3.35	▲0.04
5	6	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↗	3.26	3.20	0.06
7	7	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↗	3.22	3.15	0.07
6	8	(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	→	3.20	3.16	0.04
10	9	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	↗	3.18	3.12	0.06
12	10	(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↗	3.17	3.08	0.09
8	11	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	→	3.17	3.14	0.03
11	12	(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	3.15	3.11	0.04
13	13	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↗	3.10	3.03	0.07
14	14	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	→	3.03	3.02	0.01
16	15	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	↗	2.98	2.86	0.12
17	16	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↗	2.98	2.84	0.14
15	17	(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	2.96	2.91	0.05
19	18	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↗	2.81	2.75	0.06
18	19	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	→	2.78	2.82	▲0.04
20	20	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	→	2.77	2.74	0.03
23	21	(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↗	2.67	2.55	0.12
21	22	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	2.64	2.67	▲0.03
22	23	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	→	2.64	2.63	0.01
24	24	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↑	2.40	2.25	0.15

※1) 満足度の矢印の説明

- 前年比+0.15 以上 =↑ (上昇)
- 前年比+0.05 以上+0.15 未満 =↗ (やや上昇)
- 前年比-0.05 以上+0.05 未満 =→ (横ばい)
- 前年比-0.15 以上-0.05 未満 =↘ (やや下降)
- 前年比-0.15 未満 =↓ (下降)

2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.3 重要の度合い

重要度の高い項目は、昨年度同様「就業支援」が 4.38（昨年度：4.52）、「安全・安心体制」が 4.37（昨年度：4.44）、「保健・医療」が 4.34（昨年度：4.38）、「子育て支援」が 4.32（昨年度：4.38）となっている。

一方、重要度の低い項目は「市街地形成」が 3.48（昨年度：3.61）、「芸術・文化」が 3.50（昨年度：3.61）、「スポーツ・レクリエーション」が 3.52（昨年度：3.56）となっている。

昨年度と比較すると、「子育て支援」、「社会福祉」、「上・下水道」、「交通インフラ」、「公共交通」の重要度はほぼ横ばい、その他の 19 項目は重要度が下降している。

図表 6 重要度（点数順）

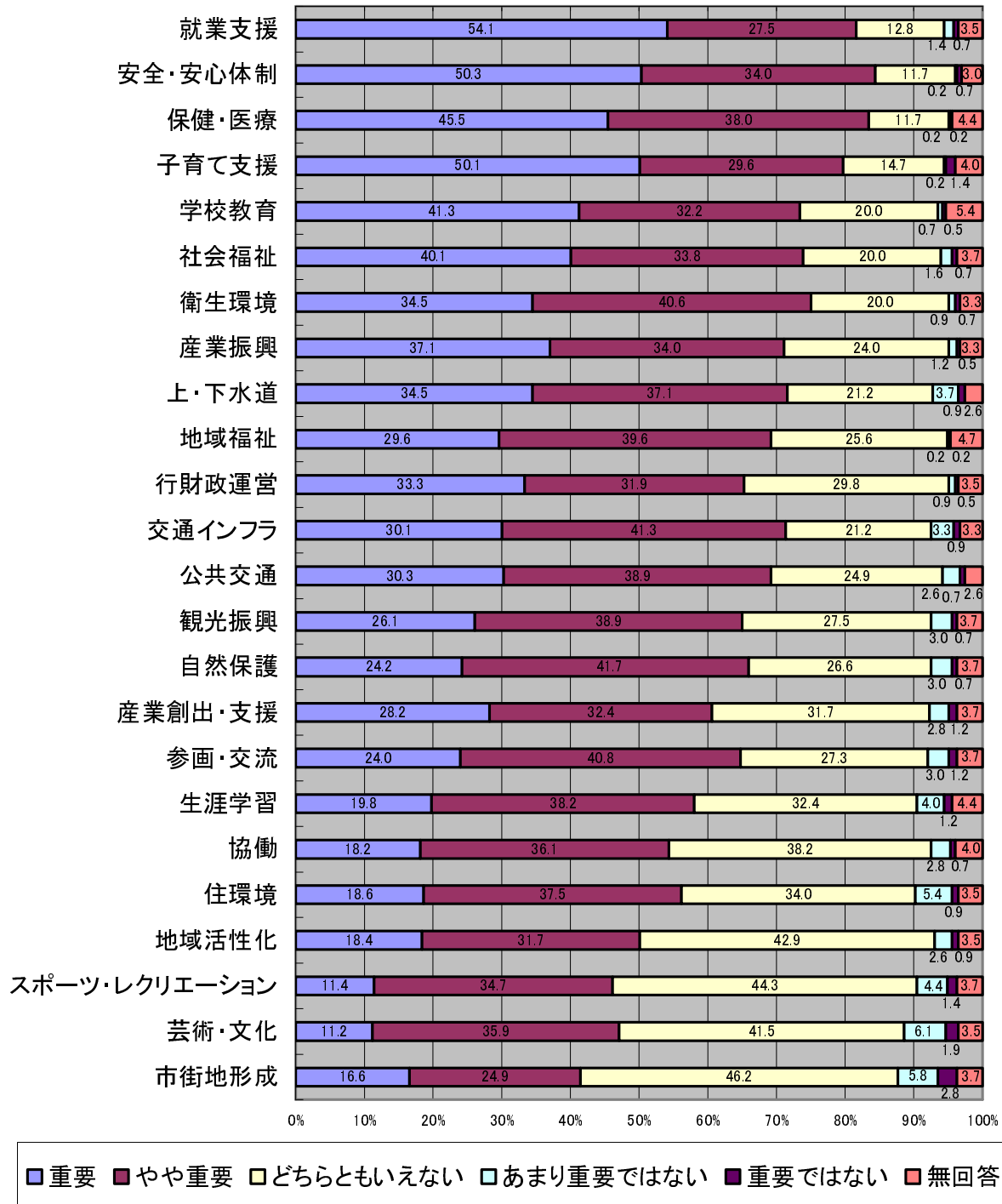
順位		項目	重要度 ※1			
H23	H24		H24	H23	増減 (H24-H23)	
1	1	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↘	4.38	4.52	▲ 0.14
2	2	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↘	4.37	4.44	▲ 0.07
3	3	(保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	→	4.34	4.38	▲ 0.04
4	4	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	→	4.32	4.30	0.02
3	5	↓ (学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	4.19	4.23	▲ 0.04
8	6	↑ (社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	4.15	4.14	0.01
7	7	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	↘	4.11	4.18	▲ 0.07
6	8	↓ (産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↘	4.10	4.22	▲ 0.12
12	9	↑ (上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	4.03	4.02	0.01
10	10	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	→	4.03	4.05	▲ 0.02
9	11	↓ (行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	↘	4.00	4.10	▲ 0.10
14	12	↑ (交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	→	4.00	3.99	0.01
15	13	↑ (公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	→	3.98	3.98	0.00
13	14	↓ (観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	↘	3.90	4.00	▲ 0.10
17	15	↑ (自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	→	3.89	3.91	▲ 0.02
11	16	↓ (産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↓	3.87	4.04	▲ 0.17
16	17	↓ (参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	↘	3.87	3.93	▲ 0.06
19	18	↑ (生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	3.75	3.80	▲ 0.05
18	19	↓ (協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↘	3.71	3.81	▲ 0.10
21	20	↑ (住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	→	3.70	3.73	▲ 0.03
20	21	↓ (地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↘	3.66	3.75	▲ 0.09
24	22	↑ (スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	→	3.52	3.56	▲ 0.04
22	23	↓ (芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↘	3.50	3.61	▲ 0.11
22	24	↓ (市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↘	3.48	3.61	▲ 0.13

※1) 重要度の矢印の説明

- 前年比+0.15 以上 =↑ (上昇)
- 前年比+0.05 以上+0.15 未満 =↗ (やや上昇)
- 前年比-0.05 以上+0.05 未満 =→ (横ばい)
- 前年比-0.15 以上-0.05 未満 =↘ (やや下降)
- 前年比-0.15 未満 =↓ (下降)

2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合

図表7 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.5 満足度および重要度の属性別比較

図表 8 性別による満足度・重要度

■男性

【満足度】

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.47
2	学校教育	3.42
3	保健・医療	3.27
4	上・下水道	3.24
5	衛生環境	3.24

(上位)

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.68
21	産業振興	2.64
22	観光振興	2.63
23	産業創出・支援	2.59
24	就業支援	2.34

【重要度】

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.33
2	就業支援	4.31
3	保健・医療	4.31
4	子育て支援	4.26
5	学校教育	4.17

(上位)

(下位)

順位	項目	重要度
20	生涯学習	3.66
21	地域活性化	3.66
22	スポーツ・レクリエーション	3.58
23	市街地形成	3.56
24	芸術・文化	3.49

■女性

【満足度】

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.63
2	衛生環境	3.42
3	学校教育	3.41
4	保健・医療	3.40
5	上・下水道	3.38

(上位)

(下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.84
21	産業振興	2.69
22	産業創出・支援	2.69
23	観光振興	2.66
24	就業支援	2.45

【重要度】

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.44
2	安全・安心体制	4.41
3	子育て支援	4.37
4	保健・医療	4.37
5	社会福祉	4.24

(上位)

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.73
21	地域活性化	3.67
22	芸術・文化	3.51
23	スポーツ・レクリエーション	3.48
24	市街地形成	3.42

図表9 年代別による満足度・重要度

■10代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.50
2	衛生環境	3.30
3	保健・医療	3.10
	学校教育	3.10
	生涯学習	3.10
	交通インフラ	3.10
	住環境	3.10
	参画・交流	3.10

(下位)

順位	項目	満足度
19	子育て支援	2.60
	産業振興	2.60
	公共交通	2.60
22	就業支援	2.44
23	産業創出・支援	2.40
24	安全・安心体制	2.30

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.70
2	安全・安心体制	4.50
3	保健・医療	4.40
4	衛生環境	4.30
5	社会福祉	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
18	公共交通	3.70
	住環境	3.70
	協働	3.70
21	参画・交流	3.60
22	市街地形成	3.40
23	芸術・文化	3.30
24	生涯学習	3.20

■20代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.80
2	学校教育	3.55
3	住環境	3.49
4	芸術・文化	3.48
5	地域福祉	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.74
	産業創出・支援	2.74
22	安全・安心体制	2.73
23	行財政運営	2.68
24	就業支援	2.60

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.64
2	安全・安心体制	4.63
3	子育て支援	4.57
4	保健・医療	4.50
5	社会福祉	4.40

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.85
21	産業創出・支援	3.81
	芸術・文化	3.74
22	スポーツ・レクリエーション	3.74
24	市街地形成	3.55

■30代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.63
2	上・下水道	3.39
3	保健・医療	3.38
	学校教育	3.38
5	衛生環境	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.69
21	行財政運営	2.63
22	産業振興	2.58
23	産業創出・支援	2.55
24	就業支援	2.25

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.62
2	就業支援	4.47
3	保健・医療	4.42
4	社会福祉	4.39
5	安全・安心体制	4.37

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.66
21	スポーツ・レクリエーション	3.55
22	協働	3.53
23	芸術・文化	3.45
24	市街地形成	3.31

■40代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.54
2	保健・医療	3.41
3	学校教育	3.34
4	衛生環境	3.33
5	生涯学習	3.31

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.63
21	産業振興	2.58
22	産業創出・支援	2.54
23	観光振興	2.49
24	就業支援	2.21

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.49
2	子育て支援	4.38
3	保健・医療	4.31
4	学校教育	4.22
5	安全・安心体制	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.56
21	市街地形成	3.54
22	地域活性化	3.46
23	スポーツ・レクリエーション	3.45
24	住環境	3.40

■50代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.56
2	学校教育	3.41
3	上・下水道	3.40
4	衛生環境	3.37
5	子育て支援	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.71
21	産業創出・支援	2.65
22	産業振興	2.60
23	観光振興	2.59
24	就業支援	2.35

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.40
2	就業支援	4.35
3	子育て支援	4.34
4	保健・医療	4.33
5	衛生環境	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.68
21	地域活性化	3.58
22	スポーツ・レクリエーション	3.51
	芸術・文化	3.51
24	市街地形成	3.43

■60代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.45
2	学校教育	3.44
3	上・下水道	3.43
4	保健・医療	3.42
5	衛生環境	3.41

(下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.84
21	産業振興	2.80
22	観光振興	2.71
23	産業創出・支援	2.70
24	就業支援	2.54

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.37
2	保健・医療	4.31
3	就業支援	4.24
4	学校教育	4.18
5	上・下水道	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.66
21	住環境	3.59
22	芸術・文化	3.46
23	市街地形成	3.44
24	スポーツ・レクリエーション	3.34

■70代

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	学校教育	3.48
3	上・下水道	3.46
4	自然保護	3.43
5	交通インフラ	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.75
21	産業創出・支援	2.73
22	市街地形成	2.69
23	観光振興	2.60
24	就業支援	2.55

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.33
2	保健・医療	4.22
	産業振興	4.08
3	交通インフラ	4.08
	衛生環境	4.08

(下位)

順位	項目	重要度
20	観光振興	3.77
21	市街地形成	3.76
22	スポーツ・レクリエーション	3.66
23	生涯学習	3.65
24	芸術・文化	3.35

※ 80代以上については、回答者がありませんでした。

図表 10 地域別による満足度・重要度

■大曲地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.55
2	学校教育	3.46
3	衛生環境	3.43
4	保健・医療	3.38
5	生涯学習	3.34

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.78
21	産業創出・支援	2.69
22	産業振興	2.69
23	観光振興	2.61
24	就業支援	2.41

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.46
2	安全・安心体制	4.43
3	子育て支援	4.36
4	保健・医療	4.35
5	学校教育	4.23

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.77
21	生涯学習	3.74
22	市街地形成	3.58
23	スポーツ・レクリエーション	3.56
24	芸術・文化	3.53

■神岡地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	生涯学習	3.50
上・下水道		3.50
3	自然保護	3.45
4	学校教育	3.40
5	芸術・文化	3.40

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	安全・安心体制	2.75
21	産業振興	2.70
22	産業創出・支援	2.65
23	観光振興	2.35
24	就業支援	2.20

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.50
2	子育て支援	4.47
3	就業支援	4.30
安全・安心体制		4.30
5	社会福祉	4.26
学校教育		4.26

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.71
21	芸術・文化	3.47
22	地域活性化	3.40
23	スポーツ・レクリエーション	3.39
24	市街地形成	3.20

■西仙北地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.74
2	保健・医療	3.59
3	自然保護	3.54
4	学校教育	3.49
5	社会福祉	3.36
衛生環境		3.36

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.67
21	市街地形成	2.65
22	産業振興	2.61
23	産業創出・支援	2.59
24	観光振興	2.53

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	安全・安心体制	4.38
3	学校教育	4.37
4	子育て支援	4.36
5	社会福祉	4.27
衛生環境		4.27

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.71
21	観光振興	3.64
22	芸術・文化	3.61
23	スポーツ・レクリエーション	3.50
24	市街地形成	3.44

■中仙地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.46
2	学校教育	3.39
3	上・下水道	3.33
4	衛生環境	3.26
5	子育て支援	3.25

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.69
21	公共交通	2.68
22	産業振興	2.57
23	産業創出・支援	2.57
24	就業支援	2.18

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.48
2	就業支援	4.33
3	保健・医療	4.31
4	交通インフラ	4.20
5	子育て支援	4.15

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.68
21	地域活性化	3.67
22	芸術・文化	3.56
23	スポーツ・レクリエーション	3.41
24	市街地形成	3.37

■協和地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.82
2	自然保護	3.55
3	学校教育	3.32
4	衛生環境	3.28
5	芸術・文化	3.25

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
19	公共交通	2.71
市街地形成		2.71
21	行財政運営	2.66
22	産業振興	2.61
23	産業創出・支援	2.54
24	就業支援	2.39

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.44
2	保健・医療	4.41
3	地域福祉	4.37
就業支援		4.37
5	産業振興	4.26

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
19	生涯学習	3.57
芸術・文化		3.57
参画・交流		3.57
地域活性化		3.57
23	スポーツ・レクリエーション	3.44
24	住環境	3.43

■南外地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.50
2	自然保護	3.45
3	保健・医療	3.37
4	学校教育	3.26
5	スポーツ・レクリエーション	3.20

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
19	参画・交流	2.80
協働		2.80
21	観光振興	2.75
市街地形成		2.75
23	産業創出・支援	2.55
24	就業支援	2.40

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.35
2	子育て支援	4.16
学校教育		4.16
4	社会福祉	4.11
5	安全・安心体制	4.10

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	スポーツ・レクリエーション	3.37
21	市街地形成	3.32
22	地域活性化	3.30
23	芸術・文化	3.26
24	住環境	3.15

■仙北地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.68
2	保健・医療	3.41
3	スポーツ・レクリエーション	3.37
4	芸術・文化	3.35
5	学校教育	3.34

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.76
公共交通		2.76
22	産業振興	2.71
23	産業創出・支援	2.66
24	就業支援	2.39

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.34
2	安全・安心体制	4.27
3	学校教育	4.15
4	子育て支援	4.13
5	保健・医療	4.10

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
20	スポーツ・レクリエーション	3.53
21	協働	3.51
22	地域活性化	3.34
23	芸術・文化	3.31
24	市街地形成	3.27

■太田地域

【満足度】 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.81
2	衛生環境	3.48
3	学校教育	3.43
子育て支援		3.38
4	地域福祉	3.38
上・下水道		3.38

【満足度】 (下位)

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.76
21	産業創出・支援	2.62
22	産業振興	2.57
23	公共交通	2.48
24	就業支援	2.33

【重要度】 (上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.57
2	子育て支援	4.45
2	社会福祉	4.45
学校教育		4.45
5	安全・安心体制	4.43

【重要度】 (下位)

順位	項目	重要度
自然保護		3.71
20	住環境	3.71
協働		3.71
23	市街地形成	3.52
24	芸術・文化	3.45

2.1.6 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、昨年度同様「就業支援」が 1.98（昨年度：2.27）、「産業振興」が 1.43（昨年度：1.67）、「安全・安心体制」が 1.35（昨年度：1.42）となっている。

昨年度と比較すると、上・下水道以外の項目で要望度が下降している。

図表 11 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※1			
H23	H24		H24	H23	増減 (H24-H23)	
1	1	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↓	1.98	2.27	▲ 0.29
2	2	(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↓	1.43	1.67	▲ 0.24
3	3	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↘	1.35	1.42	▲ 0.07
6	4	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	↘	1.26	1.33	▲ 0.07
4	5	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↓	1.23	1.41	▲ 0.18
5	6	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	↘	1.23	1.36	▲ 0.13
8	7	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↘	1.17	1.23	▲ 0.06
9	8	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	→	1.14	1.18	▲ 0.04
11	9	(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	1.01	1.03	▲ 0.02
7	10	(保健・医療) 健康増進、介護予防にすんで取り組める環境や医療体制について	↓	1.00	1.24	▲ 0.24
12	11	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↘	0.93	1.02	▲ 0.09
10	12	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	↓	0.88	1.07	▲ 0.19
16	13	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	→	0.82	0.85	▲ 0.03
15	14	(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	↘	0.78	0.87	▲ 0.09
14	15	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	↘	0.77	0.90	▲ 0.13
13	16	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↓	0.73	0.97	▲ 0.24
19	17	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	0.72	0.67	0.05
18	18	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↘	0.70	0.79	▲ 0.09
17	19	(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↘	0.70	0.84	▲ 0.14
20	20	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↘	0.49	0.60	▲ 0.11
21	21	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	0.48	0.58	▲ 0.10
23	22	(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	↘	0.34	0.46	▲ 0.12
22	23	(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↓	0.33	0.53	▲ 0.20
24	24	(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	↘	0.32	0.40	▲ 0.08

※1) 要望度の矢印の説明

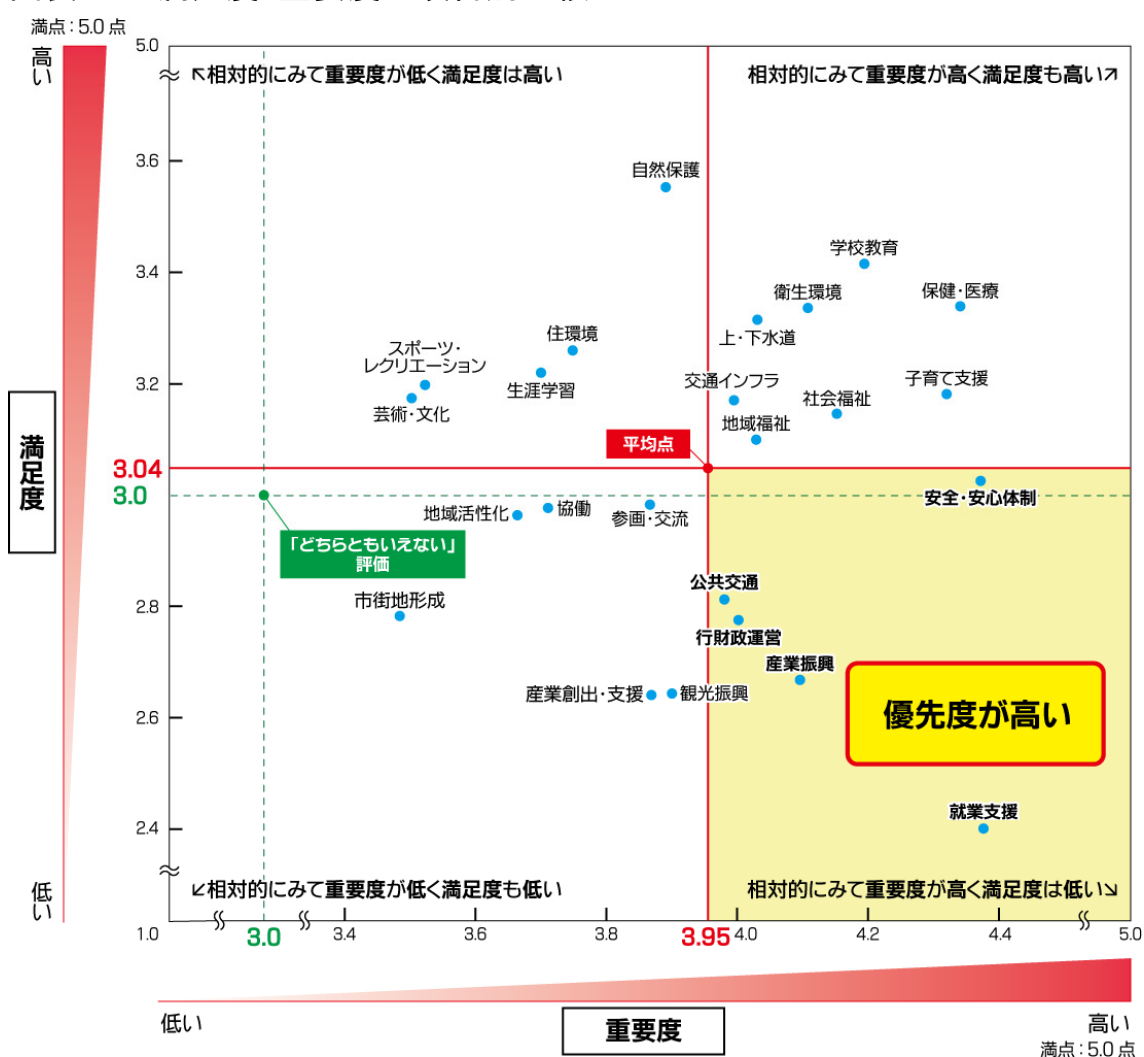
- 前年比+0.15 以上 =↑ (上昇)
- 前年比+0.05 以上+0.15 未満 =↗ (やや上昇)
- 前年比-0.05 以上+0.05 未満 =→ (横ばい)
- 前年比-0.15 以上-0.05 未満 =↘ (やや下降)
- 前年比-0.15 未満 =↓ (下降)

2.1.7 散布図

図表 12 の散布図は、満足度を縦軸とし、重要度を横軸に 24 項目の位置を描いたものである。図の左下に位置するほど満足度も低く重要度も低い項目となり、逆に、図の右上に位置するほど満足度が高く重要度も高い項目であることを意味している。

相対的にみて、優先度が高い施策（重要度は高いが満足度は低い）は、「就業支援」、「産業振興」、「行財政運営」、「公共交通」、「安全・安心体制」となっている。

図表 12 満足度・重要度の項目別比較



2.1.8 満足度および重要度の総括

〈満足の度合い〉

・満足度の高い項目は「自然保護」、「学校教育」、「保健・医療」となっており、満足度が低い項目は「就業支援」、「産業創出・支援」、「観光振興」となっている。

・昨年度と比較すると、「学校教育」、「上・下水道」、「市街地形成」、「観光振興」の満足度がわずかに下降し、その他 20 項目は満足度が上昇している。中でも「保健・医療」、「就業支援」の上昇度合いが高くなっている。

〈重要の度合い〉

・重要度の高い項目は、昨年度同様「就業支援」、「安全・安心体制」、「保健・医療」、「子育て支援」となっており、重要度が低い項目は「市街地形成」、「芸術・文化」、「スポーツ・レクリエーション」となっている。

・昨年度と比較すると、「子育て支援」、「社会福祉」、「上・下水道」、「交通インフラ」、「公共交通」の重要度はほぼ横ばい、その他の 19 項目は重要度が下降している。

〈要望の度合い（優先度）〉

・要望度の高い項目は昨年度同様「就業支援」、「産業振興」、「安全・安心体制」となっており、要望度が低い項目は「スポーツ・レクリエーション」、「芸術・文化」、「自然保護」となっている。

・昨年度と比較すると、上・下水道以外の項目で要望度が下降している。

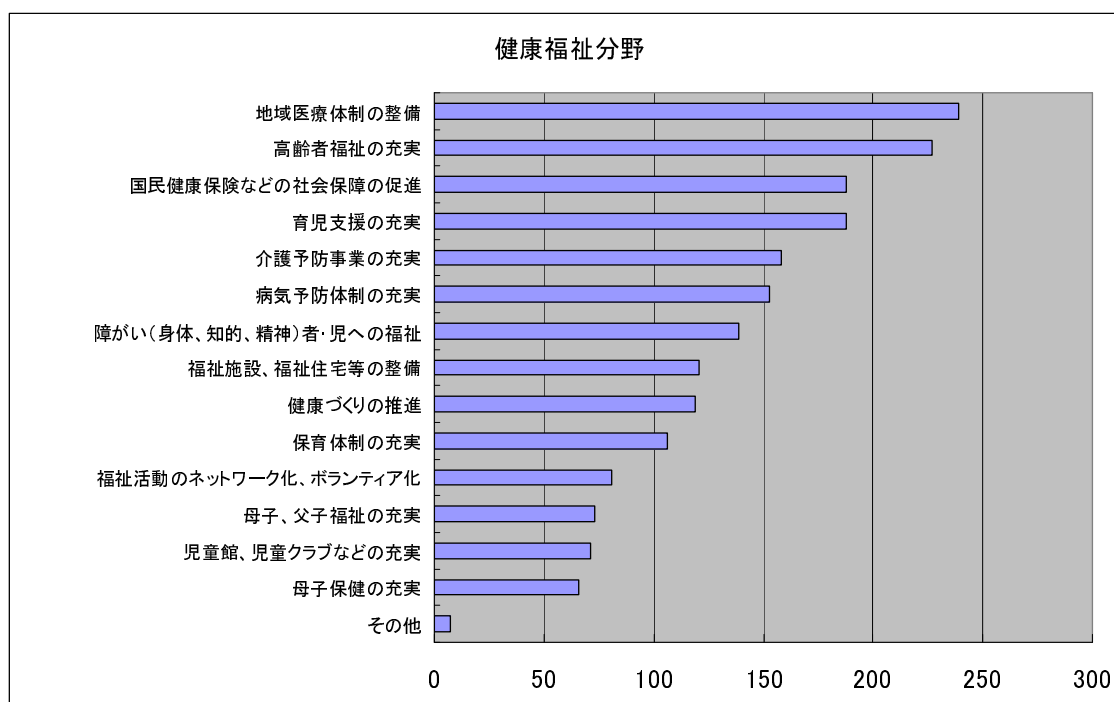
2.2 さらに推進すべき取り組み分析

2.2.1 健康福祉分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「国民健康保険などの社会保険の促進」となっている。

一方、下位は「母子保健の充実」、「児童館、児童クラブなどの充実」、「母子、父子福祉の充実」となっている。

図表 13 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 14 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
1	病気予防体制の充実	5
	高齢者福祉の充実	5
	国民健康保険などの社会保障の促進	5
4	地域医療体制の整備	3
	母子保健の充実	3
	育児支援の充実	3
	保育体制の充実	3
	福祉活動のネットワーク化、ボランティア化	3
	母子、父子福祉の充実	3

■ 20代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	32
2	国民健康保険などの社会保障の促進	19
3	地域医療体制の整備	18
	高齢者福祉の充実	18
5	病気予防体制の充実	17

■ 30代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	34
2	地域医療体制の整備	27
3	児童館、児童クラブなどの充実	26
4	高齢者福祉の充実	25
5	国民健康保険などの社会保障の促進	20

■ 40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	41
2	育児支援の充実	37
3	高齢者福祉の充実	35
4	介護予防事業の充実	26
	国民健康保険などの社会保障の促進	26

■ 50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	61
2	高齢者福祉の充実	58
3	介護予防事業の充実	40
4	病気予防体制の充実	37
5	健康づくりの推進	35

■ 60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	54
2	国民健康保険などの社会保障の促進	52
3	高齢者福祉の充実	46
4	介護予防事業の充実	42
5	育児支援の充実	33

■ 70代

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	40
2	地域医療体制の整備	35
3	国民健康保険などの社会保障の促進	32
4	介護予防事業の充実	27
5	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	26

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 15 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	116
2	地域医療体制の整備	112
3	育児支援の充実	99
4	国民健康保険などの社会保障の促進	83
5	病気予防体制の充実	79

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	13
2	病気予防体制の充実	12
3	育児支援の充実	11
4	介護予防事業の充実	10
5	高齢者福祉の充実	9
	国民健康保険などの社会保障の促進	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	28
2	介護予防事業の充実	25
3	国民健康保険などの社会保障の促進	23
4	高齢者福祉の充実	22
5	育児支援の充実	20

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	24
2	地域医療体制の整備	20
	国民健康保険などの社会保障の促進	20
4	介護予防事業の充実	16
5	育児支援の充実	15
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	17
2	国民健康保険などの社会保障の促進	13
3	高齢者福祉の充実	12
4	育児支援の充実	11
5	介護予防事業の充実	10
	福祉施設、福祉住宅等の整備	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	国民健康保険などの社会保障の促進	10
	地域医療体制の整備	9
2	高齢者福祉の充実	9
	介護予防事業の充実	9
5	健康づくりの推進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	26
2	高齢者福祉の充実	23
3	国民健康保険などの社会保障の促進	22
4	育児支援の充実	19
5	福祉施設、福祉住宅等の整備	15

■太田地域

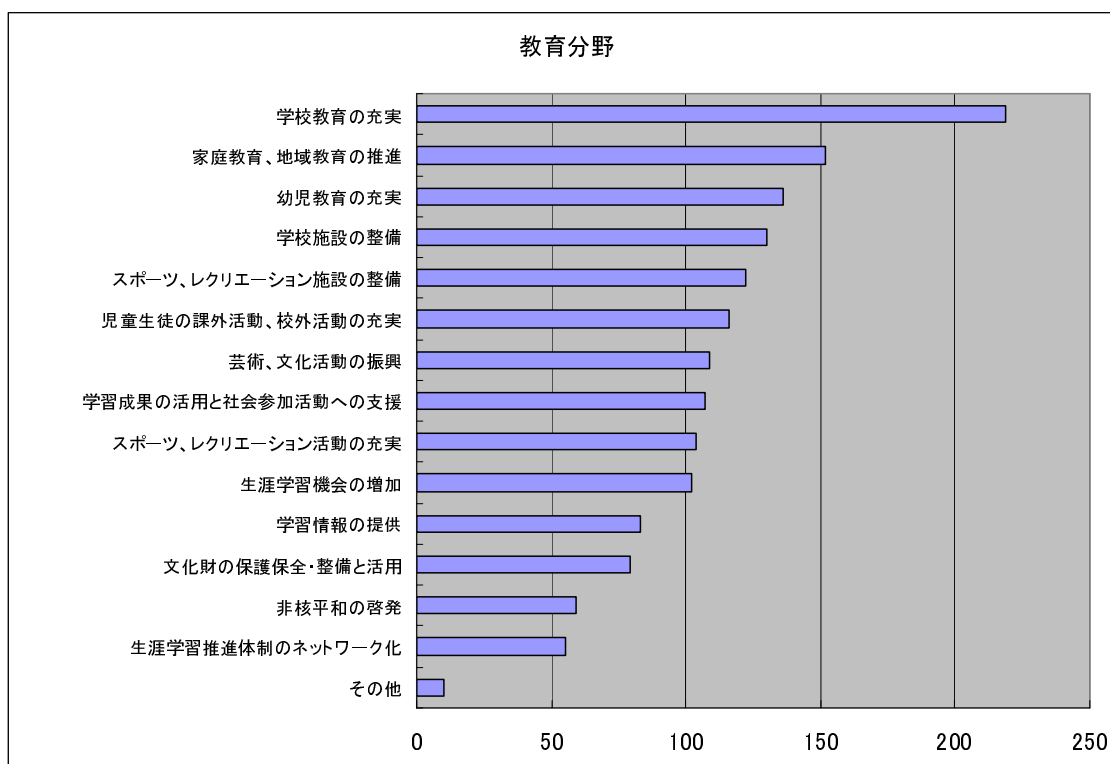
順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	14
2	病気予防体制の充実	10
	高齢者福祉の充実	10
4	保育体制の充実	9
5	介護予防事業の充実	8

2.2.2 教育分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「学校教育の充実」、「家庭教育、地域教育の推進」、「幼児教育の充実」となっている。

一方、下位は「生涯学習推進体制とネットワーク化」、「非核平和の啓発」、「文化財の保護保全・整備と活用」となっている。

図表 16 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 17 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
	学校教育の充実	5
1	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	5
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	5
4	家庭教育、地域教育の推進	4
	幼児教育の充実	3
5	学校施設の整備	3
	学習情報の提供	3
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	3

■ 20代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	25
2	幼児教育の充実	18
3	学校施設の整備	17
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	16
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	16

■ 30代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	28
2	幼児教育の充実	27
3	学校施設の整備	24
4	家庭教育、地域教育の推進	22
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	22

■ 40代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	43
2	学校施設の整備	30
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	23
4	家庭教育、地域教育の推進	22
5	学習情報の提供	18
	芸術、文化活動の振興	18

■ 50代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	52
2	家庭教育、地域教育の推進	34
3	生涯学習機会の増加	31
4	学習成果の活用と社会参加活動への支援	30
5	芸術、文化活動の振興	27

■ 60代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	48
2	家庭教育、地域教育の推進	35
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	29
4	幼児教育の充実	28
5	学習成果の活用と社会参加活動への支援	26

■ 70代

順位	項目	回答数
1	家庭教育、地域教育の推進	23
2	学習成果の活用と社会参加活動への支援	19
3	学校教育の充実	18
	非核平和の啓発	18
	幼児教育の充実	17
5	芸術、文化活動の振興	17
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	17

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 18 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	111
2	家庭教育、地域教育の推進	78
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	62
4	幼児教育の充実	60
5	学校施設の整備	58
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	58

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	10
	幼児教育の充実	10
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	8
	学習情報の提供	8
5	家庭教育、地域教育の推進	7
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	22
2	幼児教育の充実	19
3	家庭教育、地域教育の推進	16
4	生涯学習機会の増加	14
	芸術、文化活動の振興	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	20
	家庭教育、地域教育の推進	12
2	学校施設の整備	12
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	12
	芸術、文化活動の振興	12

■協和地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	11
	幼児教育の充実	10
2	学校施設の整備	10
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	10
5	学習成果の活用と社会参加活動への支援	9
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	9
2	家庭教育、地域教育の推進	8
	幼児教育の充実	6
3	学習成果の活用と社会参加活動への支援	6
	学習情報の提供	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	23
2	学校施設の整備	17
3	家庭教育、地域教育の推進	15
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	14
5	幼児教育の充実	13
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	13

■太田地域

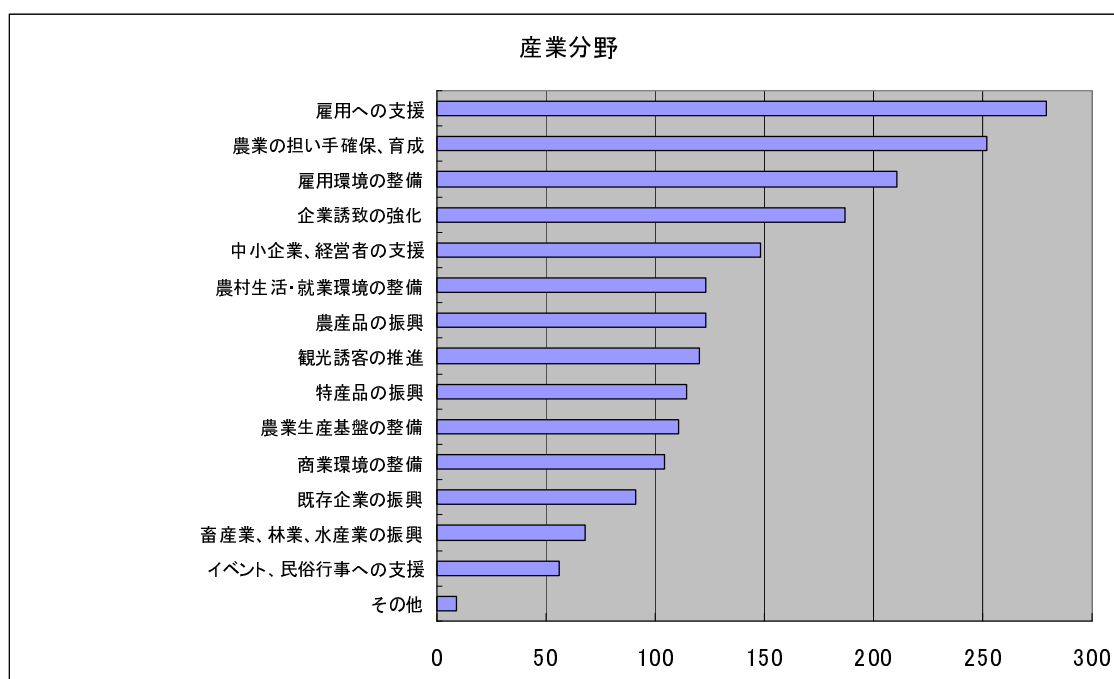
順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	13
2	学校施設の整備	9
3	家庭教育、地域教育の推進	8
4	幼児教育の充実	7
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	7

2.2.3 産業分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年同様「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」となっている。

一方、下位は「イベント、民俗行事への支援」、「畜産業、林業、水産業の振興」、「既存企業の振興」となっている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
1	雇用環境の整備	6
2	観光誘客の推進	5
2	雇用への支援	5
4	農業生産基盤の整備	4
5	農業の担い手確保、育成	3
	農村生活・就業環境の整備	3
	畜産業、林業、水産業の振興	3
	特産品の振興	3

■ 20代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	32
2	農業の担い手確保、育成	27
3	企業誘致の強化	23
4	中小企業、経営者の支援	22
5	雇用環境の整備	19

■ 30代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	34
	雇用環境の整備	34
4	中小企業、経営者の支援	24
	企業誘致の強化	24

■ 40代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	50
2	農業の担い手確保、育成	35
3	雇用環境の整備	34
4	企業誘致の強化	33
5	中小企業、経営者の支援	25

■ 50代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	63
2	農業の担い手確保、育成	56
3	雇用環境の整備	51
4	企業誘致の強化	43
5	中小企業、経営者の支援	32

■ 60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	58
2	雇用への支援	53
3	雇用環境の整備	41
4	企業誘致の強化	40
5	中小企業、経営者の支援	32

■ 70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	雇用への支援	35
3	雇用環境の整備	26
4	企業誘致の強化	23
5	農業生産基盤の整備	17
	観光誘客の推進	17

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	135
2	農業の担い手確保、育成	118
3	雇用環境の整備	105
4	企業誘致の強化	103
5	観光誘客の推進	72

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	12
2	農業の担い手確保、育成	9
3	農業生産基盤の整備	8
	企業誘致の強化	8
	雇用環境の整備	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	32
	雇用への支援	32
3	雇用環境の整備	23
4	企業誘致の強化	18
5	農村生活・就業環境の整備	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	27
2	農業の担い手確保、育成	25
3	雇用環境の整備	21
4	企業誘致の強化	19
5	農業生産基盤の整備	12

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	17
2	農業の担い手確保、育成	13
	雇用環境の整備	13
4	中小企業、経営者の支援	12
5	農村生活・就業環境の整備	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	12
1	雇用環境の整備	12
3	雇用への支援	10
4	農村生活・就業環境の整備	9
	企業誘致の強化	9
	特産品の振興	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	32
2	農業の担い手確保、育成	28
3	雇用環境の整備	21
4	中小企業、経営者の支援	18
5	農村生活・就業環境の整備	15

■太田地域

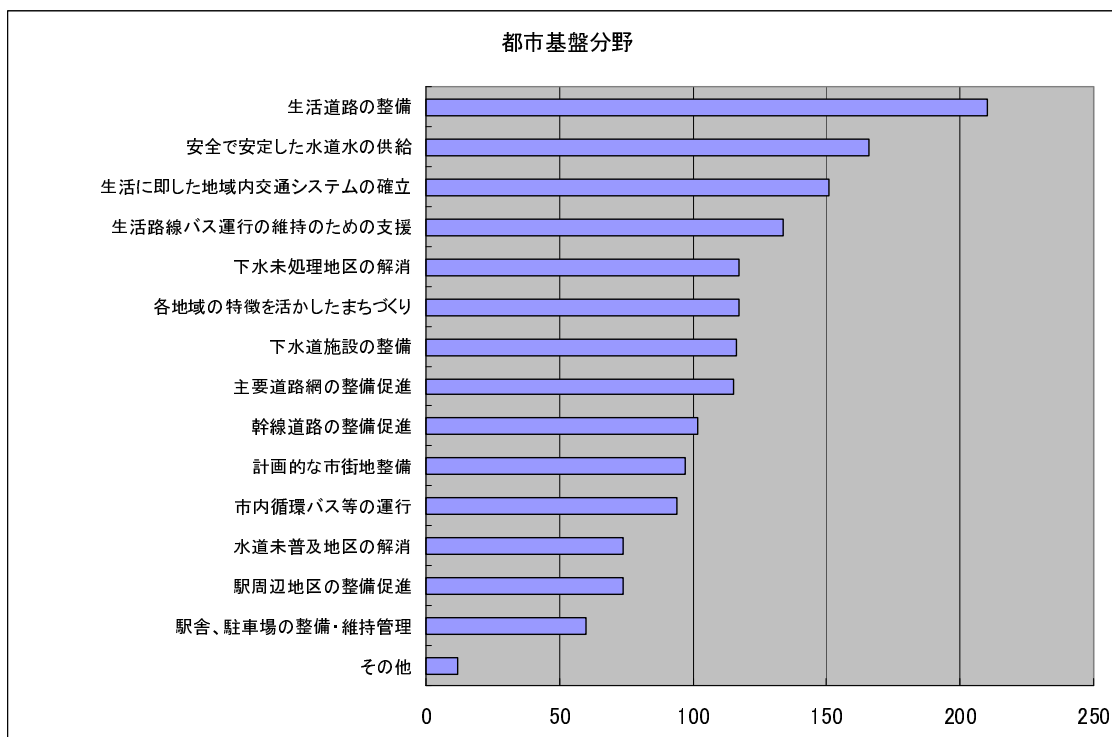
順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	14
2	雇用への支援	13
3	中小企業、経営者の支援	10
4	農産品の振興	8
	企業誘致の強化	8
	既存企業の振興	8
	雇用環境の整備	8

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年同様「生活道路の整備」、「安全で安定した水道水の供給」、「生活に即した地域内交通システムの確立」となっている。

一方、下位は「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、「駅周辺地区の整備促進」、「水道未普及地区の解消」となっている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
1	主要道路網の整備促進	4
	幹線道路の整備促進	4
	市内循環バス等の運行	4
	安全で安定した水道水の供給	4
5	生活道路の整備	3
5	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3

■ 20代

順位	項目	回答数
1	安全で安定した水道水の供給	26
2	生活道路の整備	24
3	下水道施設の整備	22
4	生活路線バス運行の維持のための支援	15
5	計画的な市街地整備	14
	駅周辺地区の整備促進	14

■ 30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
	安全で安定した水道水の供給	25
3	生活に即した地域内交通システムの確立	22
4	主要道路網の整備促進	17
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	17
	下水未処理地区の解消	17

■ 40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	39
2	安全で安定した水道水の供給	25
3	生活に即した地域内交通システムの確立	23
4	生活路線バス運行の維持のための支援	22
5	下水未処理地区の解消	20

■ 50代

順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	45
2	生活道路の整備	42
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	38
4	安全で安定した水道水の供給	30
5	生活路線バス運行の維持のための支援	27

■ 60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	生活路線バス運行の維持のための支援	32
3	安全で安定した水道水の供給	31
4	生活に即した地域内交通システムの確立	28
5	主要道路網の整備促進	27
	下水未処理地区の解消	27

■ 70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	29
2	安全で安定した水道水の供給	25
3	生活路線バス運行の維持のための支援	24
4	生活に即した地域内交通システムの確立	21
5	下水道施設の整備	19

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	101
2	安全で安定した水道水の供給	84
3	生活に即した地域内交通システムの確立	75
4	下水道施設の整備	67
5	下水未処理地区の解消	66

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	各地域の特徴を活かしたまちづくり	13
2	生活道路の整備	9
3	下水未処理地区の解消	8
4	生活に即した地域内交通システムの確立 下水道施設の整備	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	安全で安定した水道水の供給	17
3	生活路線バス運行の維持のための支援	14
4	生活に即した地域内交通システムの確立 各地域の特徴を活かしたまちづくり	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	生活に即した地域内交通システムの確立 安全で安定した水道水の供給	19
4	主要道路網の整備促進 生活路線バス運行の維持のための支援	12

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	15
2	生活路線バス運行の維持のための支援	13
3	安全で安定した水道水の供給	10
4	生活に即した地域内交通システムの確立	9
5	各地域の特徴を活かしたまちづくり	8

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	11
2	下水道施設の整備 主要道路網の整備促進	8
3	市内循環バス等の運行 生活に即した地域内交通システムの確立 各地域の特徴を活かしたまちづくり	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
2	安全で安定した水道水の供給	19
3	主要道路網の整備促進	15
4	幹線道路の整備促進	14
5	生活路線バス運行の維持のための支援 生活に即した地域内交通システムの確立	11

■太田地域

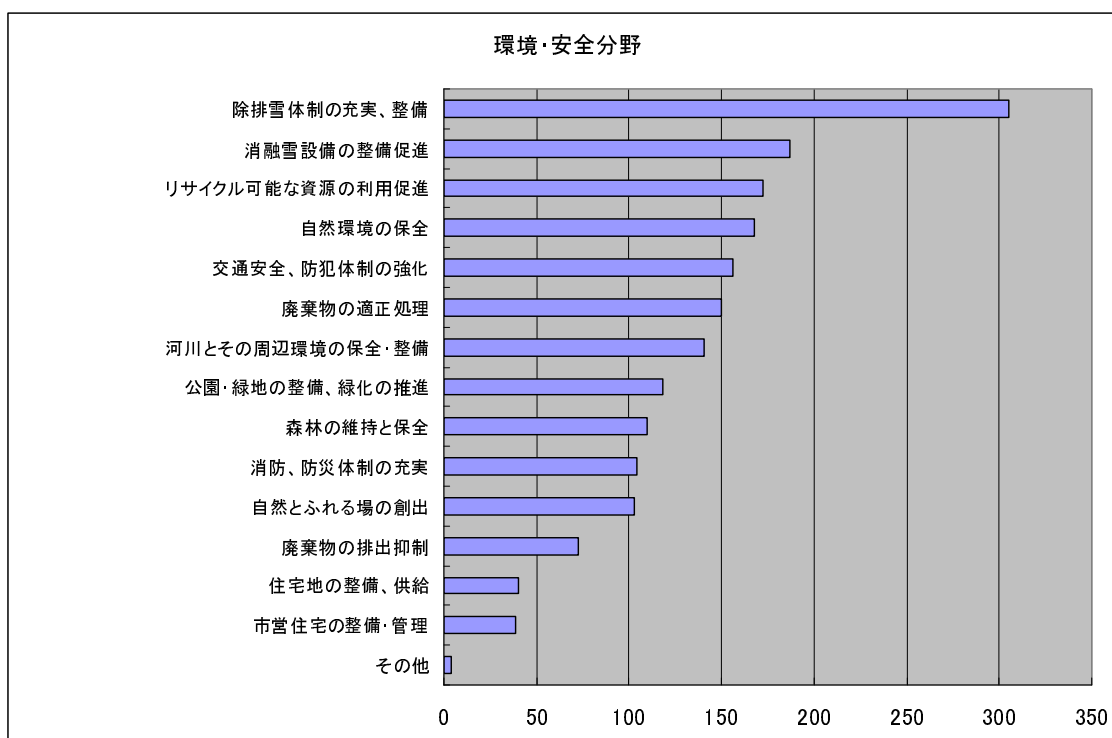
順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	10
2	生活道路の整備	9
3	生活路線バス運行の維持のための支援 幹線道路の整備促進	7
4	市内循環バス等の運行 各地域の特徴を活かしたまちづくり	6

2.2.5 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「リサイクル可能な資源の利用促進」となっている。

一方、下位は「市営住宅の整備・管理」、「住宅地の整備、供給」、「廃棄物の排出抑制」となっている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	9
2	自然環境の保全	5
	消融雪設備の整備促進	5
4	交通安全、防犯体制の強化	4
	河川とその周辺環境の保全・整備	3
5	リサイクル可能な資源の利用促進	3
	消防、防災体制の充実	3

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	34
2	自然環境の保全	22
3	消融雪設備の整備促進	21
4	廃棄物の適正処理	19
	交通安全、防犯体制の強化	19

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	39
2	消融雪設備の整備促進	25
3	交通安全、防犯体制の強化	23
	河川とその周辺環境の保全・整備	21
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	21
	廃棄物の適正処理	21

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	52
2	消融雪設備の整備促進	37
3	交通安全、防犯体制の強化	24
4	廃棄物の適正処理	23
	リサイクル可能な資源の利用促進	23

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	72
2	交通安全、防犯体制の強化	44
	消融雪設備の整備促進	44
4	自然環境の保全	42
	リサイクル可能な資源の利用促進	42

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	61
2	リサイクル可能な資源の利用促進	40
3	自然環境の保全	36
4	消融雪設備の整備促進	32
5	消防、防災体制の充実	30

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	38
2	リサイクル可能な資源の利用促進	29
3	自然環境の保全	24
	河川とその周辺環境の保全・整備	24
5	消融雪設備の整備促進	23

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	149
2	消融雪設備の整備促進	102
3	リサイクル可能な資源の利用促進	88
4	自然環境の保全	79
5	交通安全、防犯体制の強化	73

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	14
2	自然環境の保全	10
	河川とその周辺環境の保全・整備	10
	消融雪設備の整備促進	10
5	交通安全、防犯体制の強化	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	30
2	自然環境の保全	23
3	リサイクル可能な資源の利用促進	20
4	河川とその周辺環境の保全・整備	17
	交通安全、防犯体制の強化	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	33
2	廃棄物の適正処理	22
3	リサイクル可能な資源の利用促進	18
4	消融雪設備の整備促進	17
5	自然環境の保全	16

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	20
2	消融雪設備の整備促進	11
3	河川とその周辺環境の保全・整備	10
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	9
5	自然環境の保全	8
	自然とふれる場の創出	8
	廃棄物の適正処理	8
	リサイクル可能な資源の利用促進	8

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	14
2	廃棄物の適正処理	10
3	自然環境の保全	8
	リサイクル可能な資源の利用促進	8
5	森林の維持と保全	6
	河川とその周辺環境の保全・整備	6
	消融雪設備の整備促進	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	28
2	交通安全、防犯体制の強化	21
3	リサイクル可能な資源の利用促進	20
4	自然環境の保全	17
	河川とその周辺環境の保全・整備	17

■太田地域

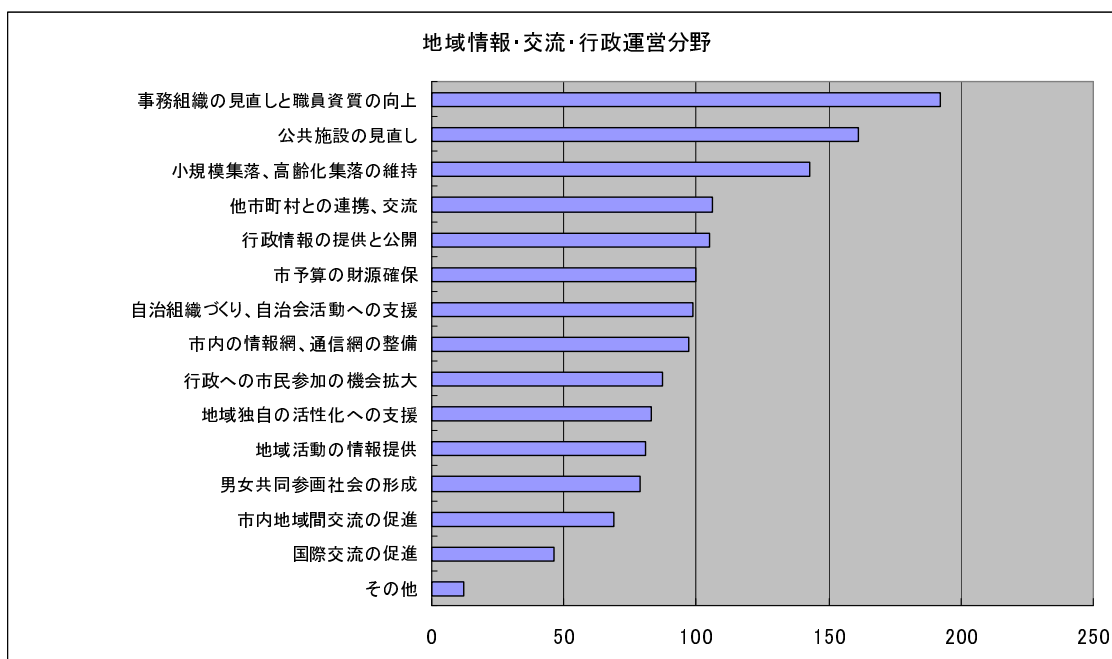
順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	16
2	交通安全、防犯体制の強化	12
3	消融雪設備の整備促進	9
4	自然とふれる場の創出	8
5	自然環境の保全	7

2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年同様「事務組織の見直しと職員資質の向上」、「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」となっている。

一方、下位は「国際交流の促進」、「市内地域間交流の促進」、「男女共同参画社会の形成」となっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
1	男女共同参画社会の形成	4
	事務組織の見直しと職員資質の向上	4
	国際交流の促進	3
3	地域活動の情報提供	3
	公共施設の見直し	3
6	自治組織づくり、自治会活動への支援	2
	小規模集落、高齢化集落の維持	2

■ 20代

順位	項目	回答数
	市内の情報網、通信網の整備	15
1	小規模集落、高齢化集落の維持	15
	事務組織の見直しと職員資質の向上	15
4	他市町村との連携、交流	14
5	行政情報の提供と公開	13
	公共施設の見直し	13

■ 30代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	29
2	公共施設の見直し	24
3	市予算の財源確保	17
4	他市町村との連携、交流	16
5	小規模集落、高齢化集落の維持	15

■ 40代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	34
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	32
3	市予算の財源確保	22
4	小規模集落、高齢化集落の維持	18
5	他市町村との連携、交流	17

■ 50代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	46
2	公共施設の見直し	40
3	小規模集落、高齢化集落の維持	31
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	28
5	行政情報の提供と公開	25

■ 60代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	42
2	小規模集落、高齢化集落の維持	35
3	公共施設の見直し	32
4	行政への市民参加の機会拡大	27
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	24

■ 70代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	27
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	24
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	21
4	他市町村との連携、交流	17
	地域活動の情報提供	17

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	95
2	公共施設の見直し	77
3	市予算の財源確保	61
4	行政情報の提供と公開	53
5	小規模集落、高齢化集落の維持	52

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	10
2	小規模集落、高齢化集落の維持	9
3	公共施設の見直し	8
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	7
5	男女共同参画社会の形成	6
	市内地域間交流の促進	6
	他市町村との連携、交流	6
	地域活動の情報提供	6

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	25
2	公共施設の見直し	19
3	小規模集落、高齢化集落の維持	18
4	地域独自の活性化への支援	15
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	18
	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
3	小規模集落、高齢化集落の維持	15
4	行政情報の提供と公開	11
5	他市町村との連携、交流	10
	市内の情報網、通信網の整備	10

■協和地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	13
	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
3	小規模集落、高齢化集落の維持	10
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	7
5	行政への市民参加の機会拡大	6
	市内の情報網、通信網の整備	6

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	11
2	他市町村との連携、交流	7
	地域独自の活性化への支援	7
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	6
	行政情報の提供と公開	6
	市予算の財源確保	6
	事務組織の見直しと職員資質の向上	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	16
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	15
3	地域独自の活性化への支援	13
	公共施設の見直し	13
5	他市町村との連携、交流	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	10
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
3	公共施設の見直し	8
4	市内の情報網、通信網の整備	6
5	市内地域間交流の促進	5
	自治組織づくり、自治会活動への支援	5

2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括

〈健康福祉分野〉

- ・「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「国民健康保険などの社会保険の促進」、「育児支援の充実」の回答割合が高くなっている。
- ・20代～40代では、「育児支援の充実」の回答割合が他の年代に比べて高くなっている。
- ・40代～70代では、「介護予防事業の充実」の回答割合が高くなっている。

〈教育分野〉

- ・「学校教育の充実」、「家庭教育、地域教育の推進」の回答割合が高くなっている。
- ・50代では、「生涯学習機会の増加」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・70代では、「非核平和の啓発」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈産業分野〉

- ・「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」の回答割合が高くなっている。
- ・南外地域では、「農村生活・就業環境の整備」、「特産品の振興」の回答割合が、他の地域と比べて高くなっている。

〈都市基盤分野〉

- ・「生活道路の整備」、「安全で安定した水道水の供給」の回答割合が高くなっている。
- ・大曲地域、神岡地域、南外地域では、「下水未処理地区の解消」の回答割合が他の地域と比べて高くなっている。

〈環境・安全分野〉

- ・「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、の回答割合が高くなっている。
- ・太田地域では、「自然とふれる場の創出」の回答割合が他の地域と比べて高くなっている。

〈地域情報・交流・行政運営分野〉

- ・「事務組織の見直しと職員資質の向上」、「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」の回答割合が高くなっている。
- ・10代では、「男女共同参画社会の形成」の回答割合が他の年代に比べて高くなっている。
- ・20代では、「市内の情報網、通信網の整備」、「地域活動の情報提供」の回答割合が他の年代に比べて高くなっている。

2.3 自由記述の類型化（抜粋）

〈健康福祉分野〉

① 保健・医療について

- 介護が必要な人には、いろいろな支援があるが、働き盛りの50代～60代前半の人の病気予防のための市の健康教室みたいなものがあれば、少しでも体の健康維持のために良いのではないかと思います。
- うつで悩んでいる人が目につきます。秋田はガンも自殺も1位。検診を受けられる環境にも力を入れていただきたいと思います。
- 脳梗塞などで入院し、手足のマヒなどが残ったまま退院をせざるをえない場合、家族に大きな負担がかかります。施設入所や、会社を休んだり辞めなければならなかったりしますので、市にリハビリセンター等の医療体制があればと思います。退院したらリハビリして自宅に戻れるシステムがあれば、これから私達が老いても安心して暮らせる市になると思います。

② 子育て支援について

- 核家族で3人の子育て真っ最中です。以前は第3子の保育料が無料でしたが、今は第3子の助成が1・2子より少ないですよね。育児にお金がかかるため働きに出たいのですが、末っ子を保育園へ入れることに慎重になります。マル福など感謝していることも多いのですが、もっと子育てしやすい社会になるとありがたいです。
- 子育てに関して、他市の取り組みの良い点を検討・導入していただけると、もっと助かることがたくさんあるように思います。これらの面での他市との交流や連携はありますか。大仙市はこんなに充実したところだと胸をはって伝える機会が増えたら嬉しいです。
- 子育て支援については、とても評価している。今後も継続させつつ、より充実させてください。
- 婦人科検診時に託児所がほしい。子をもつ若い世代が利用しづらくなっているのが現状です。
- 国全体の課題ですが、少子化対策が効果ありません。我が家は3人の子供を育てていますが、他の家庭は1～2人です。3人以上の子供を持てるような大仙市にしたいものです。
- 子育て中の母親の仕事をサポートしてほしいです。
- 子どもが雨天でも遊べるような施設を作してほしい。
- どこの保育園も老朽化が目立つ。

③ 社会福祉について

- 両親が寝たきりになり2人を施設にあずけたくても、保育料のように半額や無料ということではなく、まるまる2人分お金がかかります。この高齢者の時代、そのような制度はないものでしょうか。国民年金だったため、とてもじゃないけど足りません。
- 一生生きがいを持って暮らせるように、その予防も大事だと思います。高齢者は公民館などまで1人で行くことができないため、集落にある集会所などで体操やその他趣味のものができるといい機会があればいいのではないかと思います。
- 一人暮らしの高齢者が多くなってきている大仙市ですが、障害者の家族を抱える人の高齢化も見かけるようになってきました。病院などからの着替えなどの補充の呼び出しにも、交通手段がなく難儀しているようです。このような家庭への福祉の充実や情報の提供をお願いいたします。高齢者でも情報を受け取れるような街づくりをお願いします。
- 障がい児・者への福祉・就業支援の充実。
- 生活保護の廃止。働いていない人に税金を使うのであれば、働く意欲を持ってもらうために、街のクリーンナップでも何でもいいので街のためになることをしてもらい、時給制で支払いするなど工夫してはどうでしょうか。生活保護目的に仕事をしない人がいます。
- 最近取り上げられている生活保護の件ですが、失業中であっても義務と思って年金を納めたり、わずかな年金でも年間数十万の医療費を払い頑張っている人もいます。大変でしょうけれど、もう少し厳しくできないものでしょうか。
- 市当局は生活保護家庭の実態を定期的に調査して生活保護費を支給しているのか。この事について、かなり疑問を感じている。
- 国民年金の見直し。

〈教育分野〉

① 学校教育について

- 通学路に関してですが、朝は集団登校なので危険を感じる場面は少ないですが、下校時は危険を感じる場面が多々あります。これは、学校の指導も関係ありますが、運転していると怖いです。
- 学校教育については、偏差値至上主義は改めてください。
- 学校給食の食材をもっと地産化してほしいです。肉・豆腐・米・野菜など、地元にも肉屋・豆腐屋はあります。何でも大曲市内から取り寄せて、町内の商店の売上げ不振を見て見ぬふりしているように感じます。それから、給食費滞納者にはもっと厳しい取り立てをしてほしいです。正直に払っている者がバカみたいですよ。国民年金のように取り立て業務を民間に委託するとか、市役所に取り立て課を設けるとか、最終的に税金で穴埋めなどという事になりかねません。

(施設関連)

- 学校の老朽化がはげしい。
- 大曲小は中心小学校であるにも関わらず、施設（設備）が古い。夏場はものすごく暑くなるようで、空調設備の整備だけでも何とかならないものか。
- 大曲は共働き世帯が多いので、その実情を加味し、保育施設、学童施設のより一層の充実を望む。

② 生涯学習について

- (旧大曲市の) 最上市長さんのころから生涯学習も充実していると思っています。

③ 芸術・文化について

- 先日、酒田市と盛岡市に行ってきました。魅力のある街だなあと感じました。大曲には何が足りないのだろうと考えた時、美術館があるといいなと思いました。「大曲に行けばこの絵が見られる」みたいな。文化活動の振興に期待します。国宝をもっとアピールしてほしいですね。平福百穂美術館で男鹿和男展やった時すごい人でした。男鹿さん大仙市出身なのになあ。

④ スポーツ・レクリエーションについて

- スポーツ・レクリエーション施設がないと思います。県外や秋田市まで行かなければならない施設がたくさんある。
- 市営のスポーツ施設（室内プール、テニスコート等）の新設。
- 小学校の部活動の件ですが、今は学校が関係せずほとんどがスポ少です。それにより、指導する人が働いているため、勤めを終えてからなので子供達は早飯をして夕食後に出かけます（バスケットの場合です）。男の子と女の子がいる場合、野球部の練習を終えて帰って来ると、バスケットに行く女の子がすれちがいです。これを学校の先生が指導をして、今まで（昔のこと）どおり、放課後終わってすぐに部活の練習をして遅くても7時頃迄に帰宅して、家族が一日の出来事を話し合いながら楽しい夕食を囲むことで、情緒教育が出来ると思うのは私だけでしょうか？スポーツに関する教育を考えていただきたいと思います。

〈産業分野〉

① 産業振興について

- 高齢化が進む農業経営に対して、地域ぐるみの対応が求められていると思います。活力ある団塊世代の人たちの結束力を活かし、これからの新しい形の農業の姿を見出していきたいと思います。
- 大館市では種豚農場が完成したとのこと。大仙市でも、野菜工場とか出来ないでしょうか。
- 農業の担い手の若い人達が、もっと農業で暮らしていけるような行政の手助けが欲しいと思います。
- この地域にとって農業を発展させることは非常に大事です。これまでの米作を主体とする画一的な農業からいかに脱皮し、この地域独特の独創的産業（生産物、流通過程）に転換させることが必要に思います。

② 産業創出・支援について

- 市内全体がさびれている感じがする。中途半端な大きさではなく、巨大なテーマパーク・遊園地等を誘致できないでしょうか。大仙に人が集まるのは花火の時ぐらいで、他の時期はほとんど人が集まらない、人の出入りがないと、どんどんさびれていく一方なのではないでしょうか。
- 農業や介護等これから需要が多くなる業種に若い世代が入ってきて市を盛り上げるようなシステムを考えてほしい。もう今までの自動車、電機産業はダメになると思う。これからの新しい産業構造を大仙市が全国に向けて提案できるようにしてほしい。
- 大仙市は冬期を除けば生活しやすい街ではありますが、働く場所や職種が限定されていると考えています。難しい問題ですが、新しい産業の創出が必要なのではないでしょうか。
- 景気が悪く、地元の仕事が少なく、今は震災の影響があり、他県で忙しく働くことが出来るが、この先への不安が大きい。商業・産業への予算や整備の見直しを推進してほしい。
- 県外資本での商業誘致は、雇用問題の解決になるかは疑問。始まりがよくても終わりと継続性を見極めないと、最終的には未雇用の増加になるか、低所得の生活になりかねない。既存企業の促進対策に強く目を向けていただきたい。

③ 観光振興について

- 大仙市の観光について、大曲の花火は有名ですが、その他に他県などから注目され、ぜひ来たいと思わせるようなイベントなどもっと積極的に住民の意見を聞いて企画してほしい。大仙市は旧8市町村が合併しているので、各旧市町村の特徴を生かし、交替で独自のイベントを考えるなどもっと工夫がほしいと思います。（東北六魂祭ならぬ大仙8魂祭など）
- 大曲駅内の観光情報センターは、花火当日、夜11時頃迄、開業すべきでないでしょうか。
- 花火大会だけでなく、他にも何かイベントがあればいいと思います。
- これからJRのデスティネーションキャンペーン、国民文化祭とここ2～3年、県内各地域との競争も激化し、それに遅れをとるとその影響は計り知れないマイナスになると思います。仙北市は早くも対応しています。全市民総参加でお客様をおもてなしすることが、大切だと思います。地域ぐるみで雑草の除去、町をきれいにする、各家庭の家の前に草花をかざる、そして積極的に声をかけるといったあまりお金のかからないのも立派なおもてなしだと思います。できることからスピーディに実行することをお願いします。仙北組合総合病院の改築を核としたプロジェクトを積極的にPRすることも必要だと思います。旧池田氏庭園－払田の柵－温泉も早く通年化してほしい。
- 大仙市はとても広いので「全体の観光マップ」を作り、旧市町村の枠を越えて、人が行きかえる様になると楽しい街になると思う。

④ 就業支援

- 職種、職業の数が少ないと思う。
- 雇用への支援。
- 若年者の就職支援にもっと力を入れてほしいです。
- 若い世代が定住できるよう、働き口の確保に力（金）をそそいでもらいたい。
- 特に雇用を広げていかなければ若い人はどんどん都市部に流出してしまい、結婚もできず、子どもは産まれない。そこに歯止めをかけるべく思い切った対策を市民と行政共に真剣に考えていくようになってほしい。現状を打破する方向に向かってほしい。

〈都市基盤整備〉

① 交通インフラについて

- 道路整備について、105号線に出るために中里温泉前の道路を四ツ屋方向に走行するのですが、用水路の上でしょうか、何年も整備されず大型トラックなどは急ブレーキをかけ段差をこえていきます。とても危険ですので早急の整備をお願いします。
- 県道南外字上野武藤商店から佐々木電器店前までの道路が狭く、特に冬はバス等大型車とすれ違う時大変です。県道ですので、県の行政分野かもしれませんが、早急な整備をお願いしたい。
- せつかく下水道を作った時、自宅前の道路をしっかりとおしてくれませんでした。何回か市の方へも連絡はしましたが、しらんぷりです。
- 道路網は十分に充実している。今後は維持を充実させ、くだらない道路改良、新規道路等は全くもって不要。地域住民のわがままに付き合う必要なし。（但し、幹線道路、歩道整備は別）。
- 大曲地域の道路や施設の整備は進んでいますが、同じ大仙市でも他の地域はまったく変わらないと思います。もう少し他の方にも目をあててください。
- 子ども達の通学路となる歩道の整備点検があるといいと思う。

② 公共交通について

- 学校の統合等により交通網等が学校中心のものとなっているところがあります。今は車（自家用）の時代かも知れませんが、何らかの理由で車の免許等がない人もいます。これからの高齢化に伴い、公共の交通機関等を利用しやすくしたりしてはどうでしょうか。
- 生活路線バス運行の維持のための支援をお願いします。私は角間川に住んでおり、買い物や病院通いにお世話になっています。バスがなくなる話もあります。どうかこのまま続けていくようお願いしたいものです。
- 私は太田地域のことしかよく分かりませんが、現在少子高齢化が進んでおり、高齢者の単独世帯も増えてきていると思われまます。そのような人たちが病院へ行ったり買い物に行ったりするために欠かせないのは公共の交通機関です。太田には病院もスーパーも少なく、交通の便も悪いと思います。難しいこととは思いますが、高齢者がもっと生活しやすい町にしていきたいです。
- 体が少し不自由なので、街の中はほとんど歩けず車で通るだけですが、200円バスはありがたく利用しています。
- 生活に即した地域内交通システムの確立。
- 市内循環バスの運行に関して、既存の大曲地域だけでなく「大仙市」として取り組んで欲しいと思います。

③ 市街地形成について

- 駅前の商店街にもっと無料で利用出来る駐車場がほしいです。
- 駅前駐車場の整備と駅前広場の整備の必要性を感じます。駅前に乗り入れられるタクシーは5台以内とし、必要に応じて無線連絡するということを指導してほしい。駅前をもっと広く、一般車の乗り入れも多できるようにしてほしい。例えば角館駅前のような形式を取り入れ、大曲の玄関口という気構えで広く整備してほしい。組合病院の改築がよい機会だと思います。
- 駅前開発で病院等施設が建設されるが、一部の活性化につながると思うが、全体の発展には疑問。
- 大曲駅周辺のにぎわいを取り戻すために商店と市が協力して行っていますが、活性化にむけて更なる頑張りを期待しています。（昔のような駅前になってくれることを願っています）

④ 上・下水道について

- 上下水道の整備をしてほしい。（大雨がちょっとでも降れば上水道がにごってしまう。）
- 市内南部（藤木、角間川）の下水道整備を早くお願いしたい。

〈環境・安全分野〉

① 自然保護について

- できれば今の自然をあまり変えないでほしいです。家のまわりの生き物が、田んぼの整備、道路、河川の整備などで、ほとんどいなくなってしまうました。子供はいろんな生き物にかこまれながら育てていきたいので、あまり整備工事はしてほしくありません。

② 住環境について

- 子育てに優しい街づくり。安全に遊べる施設、公園などの整備。
- 公園へ遊びに行っても草刈りが不十分であったりするのでなかなか遊べない。

③ 衛生環境について

- 一般ごみの収集も含め、廃棄物処理に関して市民の意識も高まっており、排出する際の分別等、守られてきていると思います。残念なのは、子供達に学校等で一生懸命指導しているのに、大人のモラルが低いこと。ポイ捨てや川への投棄に関しては、厳罰化すべきと思いますし、忠告してもらいたいと思います。
- 利用しているごみ集積所の傷みがひどく、毎回カラスが生ゴミを散らかしている状況です。補修の話を市で窓口になってもらえればありがたいと思います。また収集車の方の情報も聞いてもらえるとありがたいです。
- 被災地のがれき受け入れについて。基本的には賛成ですが、焼却灰の処理については、疑問が残ります。いずれ処理施設が満杯になった時、又、長い年月が経過した時に、南外地域の土壌への浸出や風などの影響などを考えると、今の状態だと不安です。実際に地域の住民からは反対の声は出なかったとのことで進められてきたようですが、地域住民全員への説明や了解はなかったとのこと。今、50才60才の人は、それまで生きてないからとあまり切迫した状態ではありませんが、子供達のことを心配です。受入処理に関してはこれきりでなく、何度も説明や、政策の変更を考えてほしいです。

④ 安全・安心体制について

- 除排雪体制の充実、整備（消融雪も）。
- 冬期間、雪道の除雪がとても遅い地区が多々あります。優先して除雪される雪道も沢山あり、大変かと思いますが、何とか効率のよい除雪作業をお願いします。
- 停電時等防災の情報把握に一考を要する。（東北電力との緊急連絡体制の在り方等）
- 災害時の避難場所の目印や順路等がはっきりしていない。誰が見てもすぐわかるのでなければならぬし、年1回位は情報を流すか町内区内の説明指導がほしい。
- 空家の整理を早めにしてもらいたい。
- 信号機のまわりに枝等があつて見えにくかったりカーブミラーの変色や割れ等もあります。
- 南外地域にある建物、使用しなくなった物件の管理はどの様になっているのか。例えば給食センター、スキー場管理棟、保健センター棟（大畑地区）等の建物は総べて崩壊しております。あの状態で良いもののでしょうか。

〈地域情報・交流・行政運営分野〉

① 参画・交流について

- 大仙市になりしばらく経ちますが、まだまだ各地域ごとに隔たりが感じられます。季節の祭りを見ても、他の地域からの参加はなく、その地域でも子供達の姿があまり見えず寂しさを感じます。これからの大仙市を支える上で、地域間の連携や将来を担う子供達が交流し、地域に溶け込む環境作りを市や町内、企業、学校、そして家庭が協力していく方策を提示してもらいたいものです。
- 大仙市の広報はとても良い情報発信になっていると思う。継続推進してほしい。
- 広報がとても見やすく、頑張っていると思います。ただ、市政が見えにくく、何をやっているかわかりません。
- 他の地域（市町村）から来ていただける市（街）にしてほしい。魅力ある大仙市にしてほしい。うらやましがられる街にしてほしい。例えば、税金がやすい、おいしいものがある、住みやすい、など。
- 私は4年間、勉強のため大仙を離れていました。私が4年間住んでいた所は今とても活気があり、正直、大仙市より充実していると思います。住んでいた所では毎週様々なイベントの案内や、市民のコミュニケーションを図るためのオールカラーの新聞を無料で配布したりしています。大仙市もこれに習って、様々なイベントを開いたり、活気ある街、他県からも人が集まるような取り組みをしていただきたい。
- 市の人口減少防止策として雇用の場の確保は勿論であります。結婚を望みながら結婚できない若い人が多くおります。（特に農家等に多い）これらの手助けとなるような方策についても、行政としてもこれからは必要かと思えます。
- 市のホームページの情報が古く、更新されていないか更新が遅い部署が多々ある。もっとタイムリーに更新してほしい。
- 市の広報車はスピードが早く内容を理解できない。
- Uターンで帰県しました。転入手続きに来庁した時に、市政の広報資料の手渡しサービスを実施してはいかがでしょうか。

② 協働について

- 花火にしても新人音楽祭にしても、全国に誇れるものがたくさんあり、行政と市民が一体となってまちづくりをしているのが伝わってきます。
- 丸子橋から中通り病院までの商店街がシャッター通りになってしまった。活性化させる方法を市民と考えてほしい。

③ 地域活性化について

- 空洞化の地域を減らすようにしてほしい。大勢の人々が集まる町づくりをめざしてほしい。
- 各地域町内会等への各種補助金の検討が必要と思う。戦後重視されてきた町内会の役割はすでに有名無実化し、形骸化し、いかに会費、補助金を使用するかを重要としている。少子高齢化の現実にあった地域社会、町内会のあり方を考えるべき。コンパクトで町内住民と行政と連携した地域づくりが必要と思える。
- 地域振興券などまたやってほしい。それによって、地域の商店街が活性化されると思うから。

④行財政運営について

- どこの役場に行っても知識不足の人が多いです。職員の教育システムを早期に作り、実施した方が良いと思います。
- もっと若い人が生きやすい市政を。
- 10年程前は何度も市役所に苦情をあげていましたが、最近は職員の質も、今回のアンケート実施等、幾分良い方向に進んでいる様に思えます。一層の向上を期待しています。
- 中仙支所の市旗が土日も上がりっぱなしなのは、いかがかと。
- 予算がないからと言って公共施設の照明が切れたままであることや、ある中学校では窓の鍵すら修理できずに無施錠の状態が続いている。予算を何に優先的に使うべきか慎重に審議された方がよいかと。このままでは大仙市民として行政に対する不信感が強まる一方である。
- 地域活動への支援状況を市民が知るにはどうしたらよいですか。どのようにお金が使われ、それが一部の人にだけ還元されていないか等のチェックは、第三者が監査できるものなのか。形だけの報告のみで事業が継続され、なあなあになっていないか。地域住民からのあらゆる立場からの意見も聞いてみる等の対策はとられてあるのかなど。
- 職員の守秘義務が徹底されてない。再教育の必要あり。
- 大仙市の市民税が高いと聞きました。大仙市になる前の方が良かったとか。
- 自分の出身地域以外の総合支所に異動してきたら、4月中にもその支所全体のおおよその集落の位置や主な公共施設の場所、その他特筆すべき件等なりを、年令を問わず、一応実際その場所に行ったりして、頭の中に入れてもらいたいと思います。せっかく合併したのだから熱意がほしいです。
- 土日でも住民票等の書類が発行してもらえれば助かる。
- 市職員は総じて挨拶が出来ていない。すれ違う際でも全く挨拶が出来ない。悲しいことです。もう少しマナーを向上させてほしい。
- 質問内容をもう少し具体的にしないと、市民の要望を的確に把握出来ないのではないか。市政評価にしても、今年度〇〇した事について（具体的に）評価した方が良い。
- 大仙市になり、行政の市民サービスがやや低下したような気がします。（一般的に）
- 本庁舎が大曲にあるのは当然かと思いますが、この広い大仙市の隅々まで行政サービスが生き届いているかも疑問に思います。身近な事であればそれぞれの支所で用事が済みますが、それ以外の事は本庁で・・・という事案もあります。合併によって様々な良い点もうまれたかと思いますが、大

曲以外の住民にとっては不便さも生じました。確かに致しかたない事ですが、「仕方ない」では済まされないこともあります。時代の流れもあり各市町村独自の運営の厳しさもあって合併となりましたが、「全ての大仙市民」が住み良い行政をお願いいたします。

- 住民が不満に思わない行政をお願いします。また個別には人口が増加する様な施策をお願いします。
- 市政の方向性には大過ないと思いますが、市民の民意に沿っていないと思われる。市役所職員も議員の方々ももっとアンテナを広げてもらいたい。
- 市役所の職員の質の向上を望みます。態度は大きいですが、融通がきかない方々が多くなってきている。
- 身の丈に合ったコンパクトな市政を願います。何でもかんでも行政に頼る声は無視していいと思う。限られた財源を有効に活用。その元手は市民の税金。より多数の幸福のために執行をお願いします。
- 市での取り組みがあまり分からないと思います。結果報告等もあれば良いと思います。一部の方のみ行政とのかかわりをもって恩恵を受けて生活できている気がします。
- 市民サービスの充実については、本当に素晴らしいと思います。市長の前向きな姿勢があらわれていると思います。今後とも大仙市発展のためにご尽力くださるようお願いします。議員さんや自分のことしか考えない市民のために振り回されることのないように祈っております。

〈その他〉

- 大仙市で取組んでいる被災地のガレキ受入れについては、他地域に先立った取組で高く評価できる。放射線量のモニタリングを平行して行いつつ、着実な受入れに努めてもらいたい。
- 高齢化が進み、我々の時代も老後が心配です。農村地区ではどんどん若者が出て行き、過疎化が深刻です。若者が魅力を感じ、地元に住みたいと思える様な環境づくりが最優先だと思います。
- とても住み良い所だと満足しております。
- 今後も住みよい大仙市にさせていただくよう地域の環境を大切に考えてほしい。
- 大仙市合併後、大曲地域内だけが整備や建築等が新しく発展しているように見えている。他地域もそう願いたいです。
- 住みやすい町づくりをお願いします。
- この先私達の年代の者が、運転できなくなった時の買い物、医療機関の交通手段、雪対策など、年を追うごとに心配になってきます。小学校が廃校になってから、歩道の雑草も目立つようになりました。農業後継者も重要ですし、安心な米も食べられなくなるのではないのでしょうか。
- 旧大曲市以外にも目を向けてほしい。
- 市政に限らず秋田県全体の問題を、県と市町村が共に解決に向けた努力（対策）をしていかなければ、本当に大仙市も秋田県も終わってしまうという危機感を持って考えてほしい。
- 市議会の移動議会を開設し、地域民の参加型議会を考えてもらいたい。

資料編

平成24年度
市民による市政評価 調査票

大仙市の将来のために
平成24年度市民による市政評価
ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
大仙市では、『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成18年度から27年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示した「大仙市総合計画」を策定し、推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、まちづくりに対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料と

平成24年5月

大仙市長 栗林次美

《ご回答記入の締切》

お答えはこの調査票に直接ご記入いただき、**6月8日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

《ご記入上の注意》

※このアンケートは、市内にお住まいになっている、18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。

※ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。ご本人にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直にご回答ください。

《ご記入の方法》

1 このアンケートは原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。

2 質問のあとに「(○はそれぞれ1つ)」とあるときには、あてはまる回答項目を1つ選び、番号を○で囲んでください。

(例) 5 (4) 3 2 1

3 質問のあとに「(○はいくつでも)」とあるときには、いくつ選んでも構いません。あてはまる回答項目の番号を○で囲んでください。

(例) (5) 4 (3) (2) 1

4 あてはまる項目がないときは、「その他()」に具体的にご記入ください。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線229) FAX:0187-63-1119

Eメール:sougou@city.daisen.akita.jp

問1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号をそれぞれ1つつ選んで、○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
	設問項目	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
 (記入例)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅰ I 健康 やかに 暮らせる まちづくり	(保健・医療) ① 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(子育て支援) ② 安心して子育てができる社会環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(社会福祉) ③ 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(地域福祉) ④ 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ II 心豊かな 人を育む まちづくり	(学校教育) ① 学習意欲と能力を養う学校教育について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(生涯学習) ② 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(芸術・文化) ③ 芸術、文化活動、文化財に触れる機会について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(スポーツ・レクリエーション) ④ スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
Ⅲ 活活 躍で 生き るま ちづ くり を持 って	① (産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅳ 整生 った の基 盤が づり が	① (交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
V 環境と調和し 快適で安全に暮ら せるまちづくり	① (自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
VI 仲間とふれあ い活躍できる まちづくり	① (参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (市政運営) 市の行財政運営の効率化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1 あなたが**健康福祉分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○印をつけてください。(○はいくつでも)

1 地域医療体制の整備	2 健康づくりの推進
3 病気予防体制の充実	4 母子保健の充実
5 育児支援の充実	6 保育体制の充実
7 児童館、児童クラブなどの充実	8 福祉活動のネットワーク化、ボランティア化
9 母子、父子福祉の充実	10 障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉
11 高齢者福祉の充実	12 介護予防事業の充実
13 国民健康保険などの社会保障の促進	14 福祉施設、福祉住宅等の整備
15 その他()	

設問2 あなたが**教育分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 学校教育の充実	2 幼児教育の充実
3 家庭教育、地域教育の推進	4 学校施設の整備
5 児童生徒の課外活動、校外活動の充実	6 生涯学習推進体制とネットワーク化
7 学習成果の活用と社会参加活動への支援	8 学習情報の提供
9 生涯学習機会の増加	10 芸術、文化活動の振興
11 文化財の保護保全・整備と活用	12 スポーツ、レクリエーション活動の充実
13 スポーツ、レクリエーション施設の整備	14 非核平和の啓発
15 その他()	

設問3 あなたが**産業分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 農業の担い手確保、育成	2 農業生産基盤の整備
3 農産品の振興	4 農村生活・就業環境の整備
5 畜産業、林業、水産業の振興	6 中小企業、経営者の支援
7 商業環境の整備	8 企業誘致の強化
9 既存企業の振興	10 イベント、民俗行事への支援
11 観光誘客の推進	12 特産品の振興
13 雇用への支援	14 雇用環境の整備
15 その他()	

設問4 あなたが**都市基盤分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 主要道路網の整備促進	2 生活道路の整備
3 幹線道路の整備促進	4 駅舎、駐車場の整備・維持管理
5 生活路線バス運行の維持のための支援	6 市内循環バス等の運行
7 生活に即した地域内交通システムの確立	8 計画的な市街地整備
9 駅周辺地区の整備促進	10 各地域の特徴を活かしたまちづくり
11 安全で安定した水道水の供給	12 水道未普及地区の解消
13 下水道施設の整備	14 下水未処理地区の解消
15 その他()	

設問5 あなたが**環境・安全分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 自然環境の保全	2 自然とふれる場の創出
3 森林の維持と保全	4 河川とその周辺環境の保全・整備
5 市営住宅の整備・管理	6 住宅地の整備、供給
7 公園・緑地の整備、緑化の推進	8 廃棄物の排出抑制
9 廃棄物の適正処理	10 リサイクル可能な資源の利用促進
11 交通安全、防犯体制の強化	12 消防、防災体制の充実
13 除排雪体制の充実、整備	14 消融雪施設の整備促進
15 その他()	

設問6 あなたが**地域情報・交流・行政運営分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 男女共同参画社会の形成	2 市内地域間交流の促進
3 他市町村との連携、交流	4 国際交流の促進
5 自治組織づくり、自治会活動への支援	6 行政への市民参加の機会拡大
7 市内の情報網、通信網の整備	8 地域活動の情報提供
9 小規模集落、高齢化集落の維持	10 地域独自の活性化への支援
11 行政情報の提供と公開	12 市予算の財源確保
13 公共施設の見直し	14 事務組織の見直しと職員資質の向上
15 その他()	

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 男性	2 女性
------	------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 大曲地域	2 神岡地域	3 西仙北地域	4 中仙地域
5 協和地域	6 南外地域	7 仙北地域	8 太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、6月8日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

